

氏名	東原 亜希子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	助産学・母性看護学・補完代替医学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2017年聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2002～2007年秋草学園短期大学非常勤講師、17年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、20年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本助産学会、日本母性衛生学会、日本看護科学学会、日本看護シミュレーションラーニング学会、日本ヒューマンケア・心理学会、日本母性看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Smoke or smokeless moxibustion treatment for breech presentation: A three-arm pilot trial	共著	あり	○	Jpn J Nurs Sci. 2021;e12426 DOI: 10.1111/jjns.12426	Akiko Higashihara, Shigeko Horiuchi
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	ハイブリッド型母性看護学実習でのオンライン実習の実践と課題	共同	第3回日本看護シミュレーションラーニング学会	○東原亜希子、斎藤未希、千葉真希子、柴田由里子、山本英子	2022.3	
2	臨地での母性看護学実習に近づけた学内代替実習の工夫と実践	共同	第3回日本看護シミュレーションラーニング学会 (Web開催)	千葉真希子、山本英子、柴田由里子、斎藤未希、東原亜希子	2022.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（若手研究）	骨盤位の妊婦が実施する無煙棒灸の頭位変換の効果：ランダム化比較試験	研究代表者	2019.4～2023.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
(2) 講義・演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	【分娩期のケア】 講義：「分娩期の援助」 演習： ・「分娩第1期の看護」 ・「内診」 ・「出生直後の新生児のケア・蘇生法」 ・「分娩介助実習代替演習3例 目：模擬産婦を用いたリアルな分娩介助演習」		12	講義では分娩期のケアについて、エビデンスを基にしたケアの実践がイメージできるよう実際自分の身体を使いながらの講義にした。演習では、分娩第1期のケアの動画教材の視聴を通して、助産師の実施するケアとその根拠理解できるよう工夫した。内診演習では模型を用いて、実習で活かせるよう工夫した。新生児蘇生演習では、新生児蘇生法一次コースインストラクターとしての経験を活かしデブリーフィングに力を入れた。模擬産婦を用いたリアルな分娩介助演習では胎児心拍陣痛図再生装置を用い、波形や胎児心拍の音を感じ取ってもらえるよう工夫した。シミュレーション教育を導入し学生がより能動的に学べるよう工夫した。		

2	【周産期のケア】 講義：出産準備教育と妊娠期の運動 演習： ・「妊婦の運動：マタニティピクス体験」 ・「助産師外来」	4	講義では妊娠期の健康教育の実際がイメージできるよう声掛けの工夫を実際やってみせたりしながら工夫した。演習では実際のオンラインマタニティピクスを体験してもらい健康教育の楽しさを体験してもらった。助産師外来演習は助産師役妊婦役としてロールプレイをさせ、学生の自己課題が明確になるように工夫した。
3	【母性看護学Ⅱ】 講義：「分娩期」「遺伝相談と出生前診断」 演習： ・「母乳育児支援と新生児の抱き方」 ・「看護過程の展開」	8	分娩期の講義では視聴覚教材や模型を取り入れ、イメージできるように取り組んだ。遺伝相談と出生前診断の講義では倫理的課題について時事問題にも触れ、自分事として捉えられるよう工夫した。母乳育児支援、新生児の抱き方の演習では、看護師と褥婦のやり取りのデモンストレーションを実施したり模型を用いて学生が臨場感が持てるよう工夫した。看護過程の展開演習では各グループで学生が主体的に臨めるようファシリテートした。
4	【遺伝と看護】 演習：PBLチュートリアル	8	遺伝性疾患を抱える児を持つ家族や出生前診断といった事例から倫理的側面からケアを考え、看護職者として必要な倫理的知識、態度、行動について、PBLチュートリアルを通して考えさせた。
5	【リプロダクティブヘルスと看護】 講義：非常勤講師補佐 演習：リプロダクティブヘルスに関するテーマの各学生のプレゼン	○ 3	非常勤講師と連携を取りながら遠隔授業であっても双方向性の授業にするためにICTツールを活用し授業の支援をした。演習では各学生が自分の興味のあるリプロダクティブヘルスに関するテーマを設定し、それぞれ発表ができるよう個別面談をしながら導いた。各グループ担当の教員との協働や調整をした。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習	○	2021.5～7	科目責任者として、臨地、学内、オンラインのハイブリッドでの実習を構成し、学生の学修の機会の保障ができるよう工夫した。特に臨地実習ができなくなった学生へのオンラインの実習では臨場感あるシミュレーション教育を取り入れた。
2	総合実習		2021.7	産科外来・病棟実習指導を行った。COVID-19感染対策を徹底し、学生の体調を常に観察しながら妊娠期から出産、産後と継続ケアの重要性と退院後を見据えたケアが行えるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ		2021.8～10	COVID-19感染対策を徹底し、個別性を重視した助産診断・ケア、家族の支援が得られない状況下での支援のあり方などを考え、実施できるよう指導した。
4	IPW実習		2021.10	オンライン遠隔実習指導を行った。個々の学生が自主的に参加できるよう、チーム形成の過程を見守りながら教員ファシリテーターとして施設ファシリテーターとも密に連携をしてサポートした。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2022.3	主指導 4名	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	厚生労働大臣指定学校法人晃陽学園 晃陽看護栄養専門学校 助産学科非常勤講師	2021.4～2022.3	非常勤講師として「助産学研究」の講義8時間を担当。主に助産学研究の目的と意義、研究方法を教授した

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	国際協力事業	財団法人埼玉県国際交流協会	地球市民育成事業日本人講師。小・中・高校の教育現場や地域社会に対し国際理解・多文化共生への認識を増進する事業の企画・調整。ワークショップや海外での活動体験を紹介（要請に応じ年間に3ヶ所程講演活動中）	2011.4～

2	シンポジウムテーマ「UMIN臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録・公開されている鍼灸に関する最近の臨床試験の紹介」	第70回全日本鍼灸学会	シンポジストとして「無煙棒灸の灸実施前後の熱刺激量と体温の継時的変化～妊婦と非妊婦の比較～」を講演。	2022.2
3	第12回埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	埼玉県立大学	学術大会企画準備委員のメンバーとして活動した	2021.3~2021.11
4	埼玉県立大学専門職公開講座 キャリア開発研修(助産師)	埼玉県立大学	卒業生、修了生の助産師と在学生の交流の場とし、卒後のキャリア開発支援の機会とする公開講座。女性の健康とプレコンセプションケア等	2022.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	学校法人聖路加国際大学	妊婦・母子の運動指導(マタニティビクス・アフタービクス講師)。運動クラスの企画運営。学校法人聖路加国際大学聖路加助産院マタニティケアホームにて隔週土曜日担当	2017.4~
2	地域貢献活動	春日部市立緑中学校	性教育授業	2022.2
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 共同実験管理部会		2019.4~
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2021.4~
3	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会 相談員(妊娠・育児関係)		2021.4~
4	学生支援	看護学科2年生担任		2020.4~
5	学生支援	2021年埼玉県立大学ホームカミングデー オンライン開催 助産師交流会		2021.10
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	優秀演題賞	第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会		2022.3
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			